令和５年度
北九州市環境首都検定
【一般・上級編】
解答・解説

※2月に、皆さんのお手元に成績表を郵送します。

2023年 12 月3日（日）

※解説に記載の「テキスト」は、「北九州市環境首都検定公式テキスト令和５年度版」を、「１－１」の表記は「第１章第１節」を指しています。

【お問合せ先】
北九州市 環境局 環境学習課
電　話：(093)582-2784
ＦＡＸ：(093)582-2196

	解　　答　　と　　解　　説
問1	A　　B ③　緩和　　適応 地球温暖化対策は、大きく分けて２つあります。１つは原因となる温室効果ガスの排出を抑制する「緩和」。もう1つは、すでに起こりつつある、あるいは起こりうる温暖化の影響に対して自然や社会のあり方を調整する「適応」です。地球温暖化の影響を抑えるためには、「緩和」を進める必要がありますが、最善の緩和の努力を行ったとしても、世界の温室効果ガスの濃度が下がるには時間がかかるため、今後数十年間は、ある程度の温暖化の影響は避けられないと言われています。そこで、「緩和」とともに、「適応」の取り組みが必要とされています。 テキスト「トピックス－２」
問2	④　脱炭素先行地域 脱炭素先行地域とは、地域の再生可能エネルギーを最大限に活用して、2030年度までに家庭や公共施設等、民生部門の電力消費に伴うCO_2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門などその他の温室効果ガス排出削減についても国の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域のことです。 国が策定した「地域脱炭素ロードマップ」において、国は2025年度までに少なくとも100ヶ所の脱炭素先行地域を創出することを目指しています。 テキスト「トピックス－４」

	解　　答　　と　　解　　説
問3	②　エコテクノ等の展示会への無料出展 認定による特典 ・認定ステッカーの提供 ・認定ロゴマークの名刺等への使用 ・本市が行っている各種助成制度における審査時の加点 ・本市事業に参画していることを条件とする低金利融資制度の対象とする ・本市HPやSNSでの公開 など 以上の他、今後さらに特典を追加予定 「北九州市脱炭素電力認定制度」は、脱炭素に関心の高い市内企業を応援することを目的としたもので、本市が全公共施設を再エネ100%電力化する2025年度までをターゲットに、再エネ100%電力をはじめとする脱炭素電力を導入した市内企業を市として認定するものです。本認定制度に賛同いただいた小売電気事業者と、脱炭素電力メニューの契約を結んだ(既に結んでいる場合も可)市内企業が、北九州市へ申請することで認定を行うものです。 テキスト「トピックス－５」
問4	A　　B ①　春　　光化学スモッグ PM2.5 の濃度は、「春」に高くなる傾向があります。光化学スモッグは春から秋にかけて天気が良くて気温が高く、風が弱い日に発生しやすくなります。 テキスト「９－２」

	解　　答　　と　　解　　説
問5	②　北九州エコタウン事業 1997 年に全国に先がけて承認をうけたエコタウン事業は、北九州市の循環型社会の象徴です。①北九州市は2050年までに脱炭素社会を目指す、ゼロカーボンシティを表明しています。③北九州モデルとは、アジア諸都市における環境配慮型都市作りに役立つ基本計画策定のためのテキストです。④クリーナープロダクションとは低公害型生産技術のことで、汚染物質の排出そのものを減らす技術です。 テキスト「Ⅰ－1」
問6	③　公害防止対策審議会には、市民は参加していなかった 1964（昭和39）年に設置された公害防止対策審議会には、市民の代表が参画して公害対策について意見を述べて、具体的な改善が実施されました。 テキスト「Ⅰ－2」
問7	A　　B ②　SDGs未来　　グリーン成長 北九州市が「SDGs未来都市」として目指すまちの姿は、「『真の豊かさ』にあふれ、世界に貢献し、信頼される『グリーン成長都市』」です。その達成に向けて、経済、社会、環境の３つの柱に沿ったさまざまな取り組みを進めていきます。 テキスト「Ⅰ－6」

	解　　答　　と　　解　　説
問8	④　助言する：地域の背景や調査結果を踏まえて、参加都市・地域から政策提言を行う 政策提言は、OECDが行います。 「SDGs推進に向けた地球的アプローチ」プロジェクトを通して、各モデル都市の主要課題や対策の評価、今後の方向性などを独自の視点で取りまとめた「OECD SDGsレポート」が世界に発信されています。北九州市のレポートは、2021（令和３）年６月に発表され、北九州市がSDGsを推進する背景や目的、計画、優良事例、課題、実施体制、データからの分析、そして北九州市がSDGsを通じてより発展していくための提言が書かれています。 テキスト「１－７」
問9	②　10月の第一日曜日を「市民いっせいまち美化の日」としている 「市民いっせいまち美化の日」は市民が地域の公園、河川、海浜などを清掃します。①幼稚園、保育所の子どもたちも、まち美化の活動に積極的に取り組んでいます。③「北九州市空き缶等の散乱の防止に関する条例」（まち美化条例）により、多くの市民の集まる駅前や観光地など、市のイメージアップなどの観点から特にまち美化が必要な区域を「まち美化促進区域」として指定しています（11ヶ所）。④分別大辞典ではなく、「まち美化ボランティア袋」を配布し活動の支援を行っています。 テキスト「２－２」

	解　　答　　と　　解　　説
問10	③　「食品ロス」を削減するため、市民や事業者が取り組むことができる「残しま宣言」運動を行っている ①「分別大辞典」は、市外からの転入時に区役所などでも配布しています。②雑がみは、市民センターの古紙回収用保管庫に持ち込むことができます。雑がみの回収強化を図るために、2013年に「市民いっせい雑がみ回収グランプリ」を実施しました。 テキスト「２－３」
問11	②　環境学習サポーターとよばれる市民ボランティアが、スペース LABO を拠点として環境学習、活動のサポートをしている 環境学習サポーターは環境ミュージアムを拠点としています。小学校や市民センターで「出張環境ミュージアム」などの活動を行っています。①北九州市は環境ミュージアム、エコタウンセンター、響灘ビオトープなどたくさんの環境学習施設や環境資源を活用してエコツアーを実施しています。③平尾台、山田緑地、いのちのたび博物館、環境ミュージアム、スペースLABO、響灘ビオトープ、エコタウン、日明浄化センター（ビジターセンター）の８ヶ所から２ヶ所の体験学習コースを指定できます。④環境学習サポーターが、さまざまな環境に関する事柄をクイズ形式で紹介したり、廃材を利用したエコ工作を行ったりするなどオリジナルの体験型学習を行っています。 テキスト「３－１、３－２、３－５」

	解　　答　　と　　解　　説
問12	②　風力発電 曽根東小学校は、「学校エコ改修・環境教育」事業のモデル校として、太陽光発電のほか、①外断熱（屋根・壁）、②ペアガラス、③高反射塗装、④壁面緑化、⑤庇の設置、⑥高窓による自然換気、⑦夜間の通風によるコンクリート冷却、⑧教室のオープン化、⑨雨水の散水への利用、⑩照明の高効率化、⑪節水型トイレの導入、⑫給湯設備の高効率化、⑬環境学習スペースの整備などを実施しました。 テキスト「３－５」
問13	③　ESD の対象は、教育と環境の分野のみに特化している ESD の対象は、学校教育をはじめ、社会教育や企業の人材育成など持続可能な社会を担うすべての活動が含まれ、分野も環境、福祉、人権、男女共同参画、多文化共生など多岐にわたります。 テキスト「３－６」
問14	③　北九州市は2020年に、2050年までの脱炭素社会の実現を目指す「ゼロカーボンシティ」を表明した ①2021年には、地球温暖化対策の推進に関する法律が改正され、「2050年カーボンニュートラル」が基本理念として位置づけられました。②日本でも台風や豪雨による甚大な被害が起きており、北九州市でも2018年の西日本豪雨で甚大な被害を受けています。④2016年12月にオーストラリアのデアビン市が、行政機関として初めて「気候非常事態宣言」を行いました。 テキスト「トピックスー１」

	解　　答　　と　　解　　説
問１５	①　2019 年度、日本の発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合は 18%を占める 2019 年度の日本の発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合は 18%となってます。②1970 年代のオイルショックまではエネルギーを石油に依存していました。③2018 年度の日本のエネルギー自給率は 11.8%程度です。④2013 年度の原子力発電量は日本の発電電力量の 1%です。 テキスト「４－１」
問１６	①　洋上ウインドファームでの年間の発電予定量は、20～30万世帯の１年分の電力使用量に相当する 洋上ウインドファームでの年間の発電予定量は、15～17万世帯の１年分の電力使用量に相当します。 ④　国は洋上ウインドファームの設置のため「海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾」の1つに北九州空港を指定した 国は洋上ウインドファームの設置のため「海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾」の1つに北九州港を指定しました。 ※①または④については、正解が2つあったため、両方を正解とします。 テキスト「４－２」
問１７	④　液化水素運搬船の実証事業 ①②は、八幡東区東田地区で行われ、①は市街地に敷設した全長 1.2 ㎞の水素パイプラインを通じ、一般住宅、商業・公共施設へ水素を供給し、燃料電池などで利用する全国初の実証が行われました（2014 年度で終了）。②は水素燃料電池実証住宅や環境ミュージアム（エコハウス）に設置された燃料電池へ水素供給を再開し、大規模なパイプラインなどを活用し、水素ビジネスに乗り出す企業の実証フィールドとして提供するなど、水素エネルギーの実証・PR 拠点化を目指しています（継続中）。③は若松区響灘地区に集積する太陽光や風力発電、北九州市内のごみ発電（バイオマス）といった複数の再生可能エネルギーを使って「CO_2 フリー水素」をつくり、燃料電池自動車の燃料にしたり、公共施設や住宅の電気や熱にしたりして実際に使いました（2022 年度で終了）。 テキスト「４－４」

	解　　答　　と　　解　　説
問１８	Ａ　　Ｂ　　Ｃ ②　２　　１.５　　５ 「パリ協定」には、世界共通の目標として「世界気温上昇を産業革命前から２℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力を追求すること」や、5年毎の状況把握・更新などが位置づけられており、日本の提案が取り入れられたものもありました。 また、同協定は2016年に発効され、2020年から運用が開始されており、各国は「国が決定する貢献(NDC)」として温室効果ガスの排出削減目標を提出しています。日本は、温室効果ガスを46%削減（2013年度比）さらに50%の高みに向け、挑戦を続けていくことを表明済みです。 テキスト「４－５」
問１９	②　エアコンは自由に使用する エアコンは適切に使用し、「エコドライブ10のすすめ」に積極的に取り組んでみましょう。 １　自分の燃費を把握しよう ２　ふんわりアクセル「eスタート」 ３　車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転 ４　減速時は早めにアクセルを離そう ５　エアコンの使用は適切に ６　ムダなアイドリングはやめよう ７　渋滞を避け、余裕をもって出発しよう ８　タイヤの空気圧から始める点検・整備 ９　不要な荷物はおろそう 10 走行の妨げとなる駐車はやめよう テキスト「４－６」

	解　　答　　と　　解　　説
問２０	①　小倉北区・城野 城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業は、小倉北区の陸上自衛隊城野分屯地跡地を中心とした城野地区（約19ha）において実施しています（愛称：ボン・ジョーノ）。この地区は、小倉都心から約３㎞に位置し、JR城野駅や国道10号に近接する交通利便性の高い地区です。本事業では、この地区でいろいろな低炭素技術やしくみを取り入れて、ゼロ・カーボンを目指したまちを整備しました。 テキスト「４－８」
問２１	④　地消・地循環 「第２期北九州市循環型社会形成推進基本計画」の４つの方向性のひとつに、「地消・地循環」を目指した環境産業の創出と環境国際協力・ビジネスの推進があります。その主な取り組みとしては、エコタウンを中心とした「地消・地循環」による環境と経済の好循環、市内企業との連携およびアジア諸都市とのネットワークの活用による、環境国際協力・ビジネスの推進があります。 テキスト「５－３」

	解　　答　　と　　解　　説
問22	④　建設時の環境負荷の削減 LCA的評価の構成項目は、以下のとおりです。 ①資源消費量の削減：リサイクル原料の使用、資源の長寿命化、包装材などの使用削減 ②地球温暖化防止への貢献（省エネ、CO_2排出抑制）：製造時のエネルギー、輸送時のエネルギー、施工時の使用エネルギー、解体時の使用エネルギー ③環境への貢献：製造時などの化学物質の使用、水の循環利用と環境負荷の削減、大気への放出（製造時排ガスなど放出量、輸送方法）、地域への貢献（地元原料使用など） ④最終処分時の環境負荷の削減：使用後の再リサイクル率、使用後の処理方法、リサイクルのタイプ テキスト「５－５」
問23	②　プラスチックごみ削減などに取り組む事業者等を「プラごみゼロ協力店」として登録・紹介する制度を実施している プラスチックごみ削減などに取り組む事業者等を登録・紹介する制度は「プラごみダイエット協力店」です。 スーパー等でのレジ袋の無料配布中止については、全国一律の有料化に先駆けて2018年6月より実施（市内の主要スーパー７社との協定締結）しています。このほか市民参加による大規模な海岸清掃の実施など、プラスチックごみの海洋流出を防止するとともに、市民に身近な問題として考えてもらえるような啓発や対策を進めています。また、2023年10月からは「プラスチック製容器包装」に加えて、「製品プラスチック」も一緒に回収する「プラスチック資源の一括回収」を開始しています。 テキスト「５－６」

	解　　答　　と　　解　　説
問24	①　さまざまなタイプの風力発電装置を共通でリサイクルできる技術を確立した 2010年度から2014年度にかけ、公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS(フェイス)）を中核機関として市や企業、大学が連携し、全国初の太陽光発電（PV:photovoltaic）システムのリサイクルに向けた研究開発プロジェクトを実施しました。この結果、さまざまなタイプの太陽光発電パネルを共通でリサイクル処理できる技術を確立しました。本技術は、今後予想される太陽光発電パネルの大量廃棄時に活躍することを見込んでいます。 テキスト「６－３」
問25	③　選定 通常の“認定”が厳密な基準によるハードル設定型であることに対して、エコプレミアムは、より推薦の意味合いが強い“選定”です。それは、市内の環境産業を、エコタウンに代表されるリサイクルを中心とした静脈産業だけでなく、動脈産業側の環境配慮活動も、より強力に進めるため、優れた点を積極的に評価するねらいがあるためです。 テキスト「６－４」
問26	④　北九州市と大連市による都市間環境国際協力は、ODA案件に発展した日本で初のケースだった ①環境国際協力の原点は、研修事業です。②北九州国際技術協力会（KITA）は、持続的な発展のために産業発展と環境保全の調和を目指した国際技術協力を、北九州地域などの300以上の産・官・学諸機関の支援のもと、広く国内外の関係各所機関と効果的な連携を図りながら推進している団体です。③研修カリキュラムは、循環型社会形成分野と省エネルギー分野です。 テキスト「７－１」

	解　　答　　と　　解　　説
問27	②　飲料可能な水道水を実現させた「スラバヤの奇跡」がある 無収水率（漏水＋盗水）の大幅な減少を実現したその成果は高く評価され、「プノンペンの奇跡」と呼ばれています。 北九州市上下水道局では、1990年から30年以上にわたり、継続的に上下水道分野の国際技術協力に取り組み、職員の派遣に加えて156の国や地域から6,500名以上の研修生を受け入れています（2022年３月末時点） テキスト「７－２、７－４」
問28	①　北九州モデル 2014年に北九州市の姉妹都市となったハイフォン市は、先進的な環境港湾都市“グリーン・ポート・シティ”を目指しています。持続可能なまちづくりのため、北九州市は「北九州モデル」を活用し、ハイフォン市と共同で「ハイフォン市グリーン成長推進計画」を策定しました。同計画に基づき、廃棄物・エネルギーなど環境の７分野でCO_2排出削減が見込めるパイロットプロジェクトを推進していきます。 テキスト「７－３」

	解　　答　　と　　解　　説
問29	②　ワオキツネザル 小倉北区の到津の森公園「【世界の動物ゾーン】マダカスカルの世界」では、動物たちを見下ろしての観察も可能にするなど、動物を間近に感じられる展示を行っています。絶滅危惧種の希少動物「ワオキツネザル」などを見ることができます。 また小倉南区の曽根干潟は、ズグロカモメ（環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類）が越冬し、「生きている化石」と呼ばれるカブトガニ（環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅰ類）の日本屈指の産卵地です。 若松区の響灘ビオトープでは、チュウヒ（環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠB類）、ベッコウトンボ（環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠA類）、コアジサシ（環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類）、ミサゴ（環境省レッドリスト準絶滅危惧種）などを観察することができます。 テキスト「８－２、８－３、８－４」
問30	③　ひびちゅ・べっち 響灘ビオトープでは、これまでに約800種の生物が確認されています。その中には、ベッコウトンボ、チュウヒなど絶滅危惧種に指定されている希少な生物の姿もあります。2022年に開園10周年を記念し、公募により、公式マスコットキャラクターとして、ベッコウトンボの「べっち」とチュウヒの「ひびちゅ」が誕生しました。 ベッコウトンボの「べっち」 チュウヒの「ひびちゅ」 テキスト「８－４」

	解　　答　　と　　解　　説
問31	③　1973年に北九州市全域が「公害に係る健康被害の救済に関する特別措置法」による地域に指定され、医療費などの給付が開始された 「公害に係る健康被害の救済に関する特別措置法」による地域に指定されたのは、洞海湾周辺の48㎢です。 テキスト「9－1」
問32	②　北九州市では、工場排水に対する規制「水質汚濁防止法」に、上乗せ基準、総量規制基準といった全国の中でも厳しい規制が行われている ①北九州市では、河川32地点、湖沼1地点、海域18地点の環境基準点及び一般測定点で水質測定を行い、ほとんどの測定地点で環境基準に適合（基準値以下）しています。 ③北九州市では、1人1日あたり210リットル、市全体で約39万㎥の汚水を出し、新町(しんまち)、日明(ひあがり)、曽根(そね)、北湊(きたみなと)、皇后崎(こうがさき)の５つの浄化センターで処理され再生しています。 ④洞海ビオパークは、皇后崎浄化センターの処理水を、植物を利用してさらに浄化し、水辺の生き物たちのすむせせらぎを創出した施設で、浄化の仕組みを観察できます。 テキスト「9－3」
問33	①　再生可能エネルギーを利用した風力発電所は対象ではない 「北九州市環境影響評価条例」では、出力 5000kW 以上の風力発電所は対象事業です。他にも貯水面積50ha以上のダムや 25ha以上の埋め立てなども対象事業です。 テキスト「9－6」

	解　　答　　と　　解　　説
問34	A　　B　　C ④　人　　動物　　環境 ワンヘルス（One Health）とは、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一つの健康と考え、守っていくために、みんなで考えて行動することです。ワンヘルスの理念に基づく行動は、行政や研究者、専門家等のみが行うものではなく、市民、企業、民間団体なども一緒になって取り組むことが必要です。 テキスト「９－７」
問35	②　都市ストックの活用は新たな施設整備を増やしていく 北九州市都市計画マスタープランは、人口減少や超高齢化などの社会課題に対応するために改定されました。街なか居住を特徴とした「コンパクトなまちづくり」、「都市ストックの活用」では、新たな施設整備を減らすことができます。街なか居住は環境にも貢献するとされています。 テキスト「10－３」

【以下の問36～問40は一般編の解答です。】

	解　　答　　と　　解　　説
問36	②　シンボル事業「エコライフステージ」の３つの約束の中に「プラスチックを全く使わない」がある エコライフステージの３つの約束はごみを出さない、グリーン電力の利用、食品ロスゼロの推進です。 テキスト「２－１」
問37	①　主要駅周辺における歩道のバリアフリー化の整備率は9割以上である ②清掃や花植え等のボランティア活動を行う人々を「インフラサポーター」と呼び、北九州市では清掃用具や花の苗を支給するなど、活動を支援しています。 ③「北九州市花咲く街かどづくり推進協議会」は1991年に発足しました。 ④道路サポーターの登録用件は１０人以上の団体で活動延長１００m以上、年３回以上の活動です。 テキスト「１０－７」
問38	③　卵のプラスチックパックはプラスチック収集日に出す ①掃除機は家電リサイクル法の対象品目ではなく「粗大ごみ」に出します。 ②使用済食用油（植物性油のみ）は、回収ボックスで回収しています。 ④粗大ごみは月１回の指定日に出します。 テキスト「資料編　北九州市の「資源」と「ごみ」の分け方・出し方」

	解　　答　　と　　解　　説
問39	①　電化製品から取り外せないリチウムイオン電池の充電式電池も回収できる ①電化製品から取り外せるリチウムイオン電池等の充電式電池のほか、モバイルバッテリー、電子たばこ・加熱式たばこなどが充電式電池として回収できます。携帯電話などの小型電子機器やモバイルバッテリーなどの充電式電池には、貴重な資源が多く使われています。北九州市では「小型家電リサイクル法」や「資源有効利用促進法」に基づき、これらを適正、確実に処理するリサイクル事業を実施しています。 テキスト「資料編　小型電子機器および充電式電池の分別回収」
問40	②　カーボンニュートラル広報大使 2022年に、〝ていたん＆ブラックていたん〟を「カーボンニュートラル広報大使」に任命しました。イベントやSNSなどを通じて市民の皆様に、カーボンニュートラル社会の実現へ向けたPR活動を行っていきます。 ていたん【公式】X（旧Twitter）も ぜひフォローしてね！ テキスト「資料編　環境マスコットキャラクター“ていたん＆ブラックていたん”」

【以下の問 36～問 50 は上級編の解答です。】

	解　　答　　と　　解　　説
問36	③　A：チュウヒ　B：い　C：響灘ビオトープ　D：ベッコウトンボ 長い年月をかけて廃棄物処分場跡地にできた「響灘ビオトープ」では、廃棄の埋め立て後にできたデコボコの地形が、湿地や淡水池、草原などの多様な環を生み、さまざまな生物が生息するようになりました。その中には、メダカやベッコウトンボ、チュウヒなど絶滅危惧種に指定されている希少な生物の姿もあります。 【出展：北九州市ホームページ】 響灘ビオトープ（緑の拠点づくり） https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/file_0374.html
問37	②　第三者所有モデルを北九州市内の大企業へ戦略的に展開することで産業の競争力強化に繋げる 正しくは、「第三者所有モデルを北九州市内の中小企業へ戦略的に展開することで産業の競争力強化に繋げる」です。 北九州市の提案内容は以下のとおり公表しています。北九州都市圏域18市町で連携を図り、公共施設群と北九州エコタウンのリサイクル企業群において、第三者所有方式を活用して太陽光パネルと蓄電池を導入することで、最速かつ最大の再エネ導入モデルの構築を目指します。第三者所有モデルを中小企業へ戦略的に展開することで、産業の競争力強化に繋げます。 併せて、風力発電や水素等の脱炭素エネルギーの拠点化に取り組むとともに、脱炭素なまちづくりや環境国際ビジネスの取組とも一体的に推進し、都市の魅力向上にも繋げていきます。 【出典：北九州市ホームページ】「脱炭素先行地域」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/002_00026.html

	解　　答　　と　　解　　説
問38	②　北九州市は２０００年度に全国に先駆けて承認され、現在、全国３０地域がエコタウンとして承認されている。 全国で26地域がエコタウンとして承認されており、北九州市は1997年度に岐阜県、長野県飯田市、川崎市と並んで承認された。 ①②【出典：環境省ホームページ】「エコタウンの歩みと発展」 https://www.env.go.jp/content/900533362.pdf ③【出典：北九州市ホームページ】「北九州エコタウン事業について」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/file_0474_00001.html ④【出典：北九州市ホームページ】「北九州市の環境(令和4年度版)第3章」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/00099839 1.pdf
問39	③　家庭系ごみについては、市民の分別への理解が進み、以前よりも資源化物が混入する割合は減り、 令和元年度の家庭ごみ組成調査結果では、ごみの中にリサイクルできる資源化物としては衣類が最も多い。 令和元年度の家庭ごみ組成調査結果では、リサイクルできる紙類が約 11%、プラスチック製容器包装が約 5%、衣類や小物金属等が約5%など分別できるものが含まれていることより、「衣類が最も多い」が誤りです。 【出展：北九州市ホームページ】「第二期北九州市循環型社会形成推進計画」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000953505.pdf

	解　　答　　と　　解　　説
問40	①　風車の積出・建設機能 ― 風車設置場所へ向けた中継積出基地としての機能 正しくは、 「風車の積出・建設機能 ― 風車設置場所へ向けた最終積出基地としての機能」です。 北九州市は、響灘地区に４つの機能を整備した風力発電関連産業の総合拠点を形成することで、地域産業の活性化を目指しています。 【出展：北九州市のホームページ】「グリーンエネルギーポートひびき事業」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kou-ku/30300033.html
問41	③　A：アカミミガメ　B：アメリカザリガニ　C：条件付 令和5年6月1日からアカミミガメとアメリカザリガニが条件付特定外来生物に指定されました。アカミミガメやアメリカザリガニは、在来種の居場所を奪い、局所的な絶滅を引き起こすなど、生態系に大きな被害を及ぼす恐れのある生き物です。しかしながら、飼育者が多いため、許可なしでの飼育が禁止される特定外来生物に指定すると、手続きが面倒で野外に放されることが予想されます。このため、他の特定外来生物とは違い、条件付きで飼育等が可能になる特定外来生物に指定されることになりました。 【出典：北九州市ホームページ】 条件付特定外来生物「アカミミガメ」と「アメリカザリガニ」について https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/00600476.html

	解　　答　　と　　解　　説
問42	③　A：2050　B：47　C：60 北九州市では、令和3年6月5日に「環境と経済の好循環によるゼロカーボンシティ実現に向けた北九州市の決意（気候非常事態宣言）」を表明。同年8月に北九州市地球温暖化対策実行計画の改定を行い、温室効果ガスの削減目標についてA（2050）年の目指すべき姿として、市内の温室効果ガス排出の実質ゼロを目指す（ゼロカーボンシティ）としています。 また、2050年の実質ゼロの中間地点として、今後10年が極めて重要な期間と認識し、具体的な削減対策と効果を積み上げ、2030年度の削減目標として、2013年度比でB（47)%以上削減することとしています。 さらに、2030年度における市域内の達成目標である47%以上削減に向けた先導的なモデルとして、2030年度において、市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量を2013年度比でC（60%）削減することとしています。 【出典：北九州市ホームページ】「北九州市地球温暖化対策実行計画について」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/002_00008.html

	解　　答　　と　　解　　説
問43	①　市の紙パックの拠点回収では、容器の内側が銀色（アルミが貼ってある）の紙パックもリサイクル可能である。 ①市の拠点回収では、アルミが貼ってある紙パックはリサイクルできません。容器の内側が白いものを回収しています。回収された紙パックはトイレットペーパーにリサイクルされています。 ②レシートは感熱紙のため、紙コップ・紙皿は防水加工されているため、紙製品にはリサイクルできません。 ③紙袋の方が袋も古紙としてリサイクルされるため望ましいですが、半透明のポリ袋も分別されて、その一部は化石燃料代替品等へリサイクルされるため問題ありません。 ④奨励金制度は、子ども会、町内会、PTAなどの営利を目的としない市民団体が実施する家庭から出る古紙、古着の回収が対象です。 【出典：環境局ホームページ】 「紙パックの回収について」「古紙の出し方（分け方）について」 「集団資源回収について」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/file_0031.html https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/file_0036.html https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/file_0035.html
問44	①　石綿含有吹付け材（いわゆるレベルⅠ建材） 石綿含有吹付け材（いわゆるレベルⅠ建材）が最も飛散しやすい。（発じん性が高い）とされている。 【出典：環境省ホームページ】「特定建築材料に該当する建築材料の例」 「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアルP76」 https://www.env.go.jp/air/asbestos/litter_ctrl/ https://www.env.go.jp/content/900396898.pdf

	解　　答　　と　　解　　説
問45	④　総面積に占める森林の割合が高い。 森林率が高いことが評価されており、森林の再生は気候変動を緩和する効果的な戦略の一つであるため、北九州市にとって特に重要な要素と記載されています。都市でありながら自然に恵まれた環境を引き継いでいく必要があります。 【出典：北九州市ホームページ】 「OECD　SDGｓ北九州レポート」が完成しました 「OECD　SDGｓ北九州レポート」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/00101226.html https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000967824.pdf
問46	②　まち美化ボランティア袋の配布場所は、各区役所総務企画課のみである。 区役所総務企画課の他に、区役所出張所、市民センター、環境センターでも配布しています。 【出典：北九州市ホームページ】「まち美化ボランティア袋について」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/00800178.html
問47	①　炭素中立、循環経済、自然再興 同時達成すべき３つの事項とは、「炭素中立（カーボンニュートラル）、「循環経済（サーキュラーエコノミー）」、「自然再興（ネイチャーポジティブ）」です。 【出展：環境省ホームページ】「令和５年度版環境白書」 https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r05/pdf/0_maetsuki_contents.pdf

	解　　答　　と　　解　　説
問48	③　食用油リサイクル事業 ③は、響リサイクル団地で行われている事業である。 【出典：北九州市ホームページ】「北九州市エコタウン事業について」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/file_0474_00001.html
問49	②　５つ 主に食用品の「かん・びん」が収集の対象になります。 梅酒のびん、ペットフードの缶、インスタントコーヒーのびん、化粧品のびん、ジャムのびんの５つは「かん・びん」の指定袋で収集可能です。スプレー缶、ガラス製食器、ほ乳びんは「家庭ごみ」になります。 【出典：北九州市ホームページ】「かん・びん・ペットボトル」「ごみの分別早見表」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/file_0006.html https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kurashi/menu01_0393.html

	解　　答　　と　　解　　説
問50	④　環境基本法　　光化学オキシダント　　注意報 大気汚染に関する環境基準は、環境基本法第 16 条及びダイオキシン類対策特別措置法第 7 条の規定に基づき定められています。北九州市では、令和 3 年度は、環境基準が設定されている 11 項目のうち、光化学オキシダントを除く項目が環境基準に適合していました。光化学オキシダントについては、全国的に環境基準の達成率が極めて低い水準（令和 3 年度 1,180 局中、基準達成は 2 局 (0.2%)。）となっています。光化学オキシダントの環境基準は、「0.06 ppm 以下であること」となっています。 北九州市では、大気汚染防止法に基づく緊急時の措置として、気象条件から見て光化学オキシダント濃度の 1 時間値が 0.12ppm 以上の状態が継続すると考えられる時には、健康影響が出現する可能性が高くなるとされ、「注意報」を発令して、広く市民の皆様にお知らせします。令和 3 年度は、「注意報」の発令はありませんでした。 なお、「注意喚起」は、北九州地域における微小粒子状物質（PM2.5）の濃度が「1 日平均値 1 立方メートル当たり 70 マイクログラムを超える」と予想される場合に、福岡県が行うものです。令和 3 年度は、注意喚起の実施はありませんでした。 【出典：北九州市ホームページ】「北九州市の環境（環境白書）令和 4 年度版 P94～P97」 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000998395.pdf 【出典：環境省ホームページ】「令和 3 年度大気汚染物質（有害大気汚染物質等を除く）に係る常時監視測定結果」

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。